

計画段階評価について
国道188号岩国市（ふじゅう藤生～ながの長野付近）
第2回 説明資料

平成29年10月25日

国土交通省 中国地方整備局

1. 計画段階評価の検討の流れ	．．．	2
2. 第1回意見聴取の概要	．．．	9
3. 第1回意見聴取の結果	．．．	13
4. 対応方針（原案）の検討	．．．	23
5. 意見聴取方法	．．．	31

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1. 評価対象区間

○対象区間における南北方向の道路ネットワークは国道188号で構成され、以北の区間である国道188号岩国南バイパスが暫定2車線で開通済み、国道2号岩国・大竹道路は事業中。



1-2. 前回審議内容

■平成29年度第1回社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会の概要

実施日：平成29年5月22日（月） 開催

主な議事：①地域の状況と課題

②道路・交通の状況と課題

③政策目標の設定

④意見聴取方法

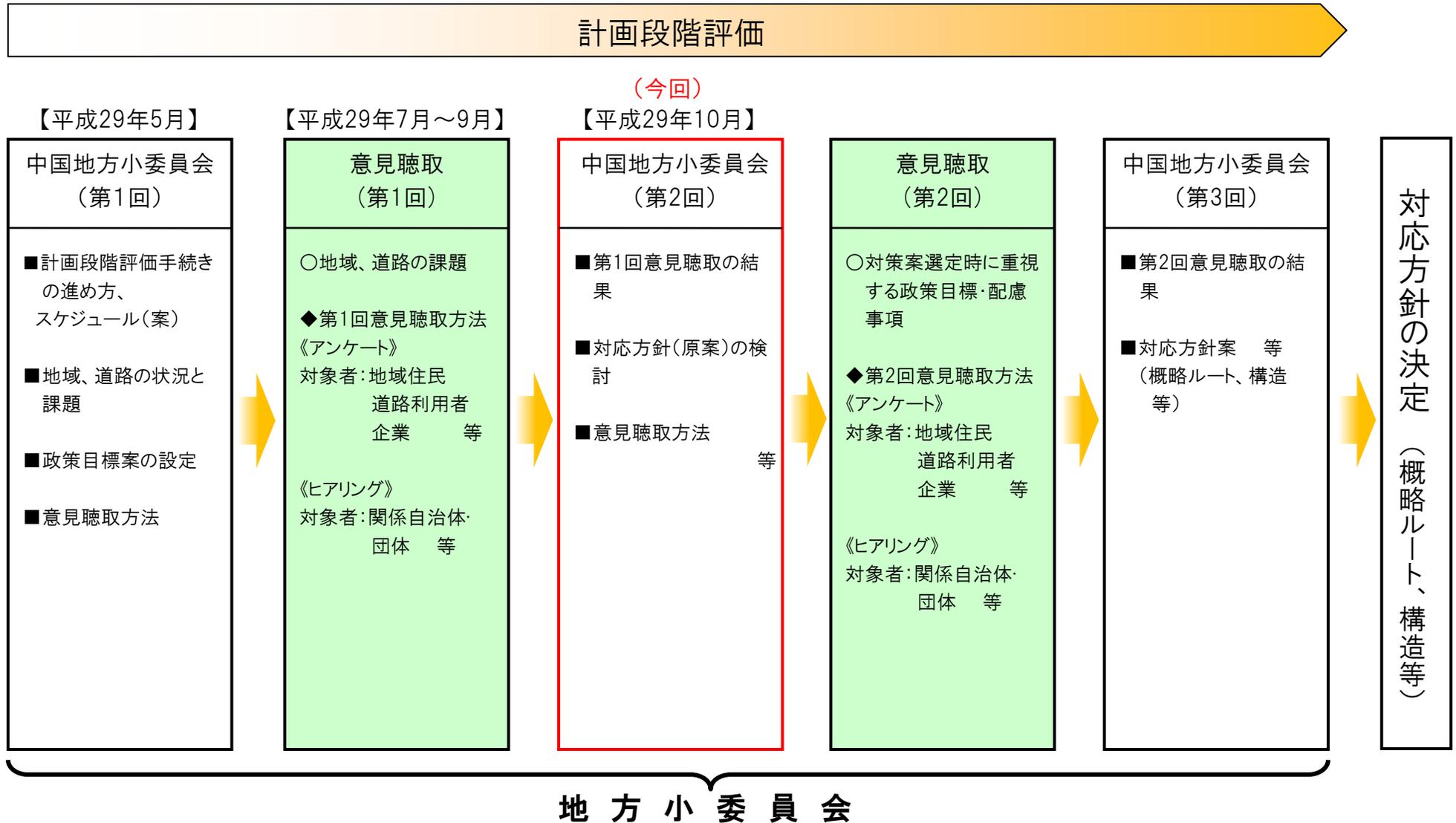
●前回審議にあたって主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
(渋滞について) ・渋滞については、年間平均値で示すだけでなく、日変動や季節変動なども把握すること。	・朝ピーク時の曜日や季節の違いによる速度低下発生状況に変動はなく、定常的に渋滞していることを確認した。
(対策案について) ・対策案については、アンケート等の結果や、現在と将来の利用形態も踏まえ検討すること。	・ヒアリング調査等により、地域の事業所等が道路整備後の事業活動に与える影響(流動の変化等)を把握し、対策案の検討に反映した。

1-3. 今後の計画段階評価の検討の流れ

■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画[概略ルート、構造等]について検討を行う。



(参考) 第1回小委員会のまとめ

◇ 地域の課題及び沿線自治体の総合計画を踏まえ、当該地域の政策目標を以下に設定

地域や道路の状況や課題

地域の将来像

1. 産業振興を支援するネットワークの強化
2. 交通の円滑化
3. 交通安全の確保
4. 災害時に強い道路ネットワークの確保

◇ 対策案の検討(案)

【産業振興関連】

製造業等の地域産業の活動を支援する道路整備とは

【交通円滑化関連】

現道の交通混雑を緩和する道路整備とは

【安心安全関連】

安全性を高める道路整備とは

【防災関連】

越波等による通行止めにおける社会経済活動や日常生活への影響を最小限に留め、住民の生活や地域の産業を守る道路整備とは

当該地域に求められるサービスとは

⇒安全・安心で円滑な走行空間を確保するとともに、地域振興を支援する道路ネットワークの確保

当該地域の課題を解決し、地域の将来像を実現する複数の対策案を設定し比較検討

2. 第1回意見聴取の概要

2. 第1回意見聴取の概要

1) 意見聴取の概要

■調査期間

平成29年7月～9月

■アンケート配布範囲

※配布数は、住民アンケート



■配布方法

- ①住民は全戸配布、事業所は郵送配布
- ②上記以外は市町役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置
- ③HP上でのWEBアンケート

■対象

下表の通り

■質問内容

【質問票】

(回答はがきに記載してください)

質問1 【5段階評価の当てはまるa～eに○をして下さい。】
国道188号「藤生～長野付近」には、①～④の交通問題があると考えています。

【国道188号「藤生～長野付近」の交通問題】

- ① 交通渋滞などにより物流搬送の移動に時間がかかること、移動時間が予測できないことが**産業活動の妨げ**になっている。
- ② 通勤・通学時に岩国市中心部方面への**渋滞**が発生し、日常生活の移動に支障が生じている。
- ③ 交差点付近や渋滞発生時に**交通事故**が多発し、交通安全の確保の妨げとなっている。
- ④ 海岸沿いを通過する区間において**越波**等により通行止めが発生し、大幅な迂回が生じるなど、防災上の課題を有している。

質問2 質問1で挙げた問題（①～④）以外に困っている点、改善してほしい点があれば、ご自由にお書き下さい。

質問3 【5段階評価の当てはまるa～eに○をして下さい。】
質問1に挙げた問題を解消するために、国道188号「藤生～長野付近」の道路整備が必要だと思いますか。

質問4 その他、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。

住民アンケート(全戸配布): 約53,200世帯			
岩国市	旧岩国市	約46,900世帯	
	旧由宇町	約3,700世帯	
和木町	約2,600世帯		
事業所アンケート: 約3,300社			
旧岩国市、旧由宇町、和木町、柳井市		約3,300社	
道路利用者アンケート: 36箇所			
常設	観光施設	潮風公園みなとオアシスゆう、錦果楼、岩国シロヘビの館 岩国市観光交流所 本家 松がね、広島東洋カープ由宇練習場 等	12箇所
	自治体	岩国市(本庁、出張所、支所)、和木町、柳井市 山口河川国道事務所岩国国道維持出張所	7箇所
	その他	主要企業、商業施設、病院等	17箇所
WEB	山口河川国道事務所HP、山口県HP、岩国市HP、柳井市HP、和木町HPにバナー掲載		
ヒアリング: 32団体・企業			
自治体	岩国市、柳井市		
沿線施設	警察、消防、病院、商工会議所、商業施設、地元企業等		
その他	トラック協会等		

2. 第1回意見聴取の概要

2) 意見聴取項目の設定

○アンケート調査目的を踏まえて、アンケート調査項目を設定。

調査目的1. 解決すべき課題の把握・原因分析、政策目標の明確化

課題		道路・交通による原因	第1回アンケート 質問1、2(交通課題の認識)
地域について	産業 (産業の維持・増進) ・臨海部の工業団地には製造業等の事業所が19企業立地。 ・岩国港や岩国IC等への低いアクセス性。 ・製造品等の納入時間や通勤時間の遅延等により、企業活動に支障。	(輸送ネットワークの速達性が不十分) ・地域の主要産業である製造業において、速達性の高い輸送道路ネットワークが不十分。	①交通渋滞などにより物流搬送の移動に時間がかかること、移動時間が予測できないことが産業活動の妨げになっている。
道路について	渋滞 (国道188号における交通渋滞) ・朝の通勤時は、藤生駅前交差点を先頭とし、速度低下が約3.3kmに渡って発生。 ・国道188号(当該区間)には、主要渋滞箇所が3箇所存在。	(交通需要が交通容量を超過) ・南北方向の幹線道路が国道188号のみであるため、朝の通勤時間帯に交通が集中。 ・沿線には住宅団地が立地しており、通勤時間帯には国道188号に多くの交通が流入。	②通勤・通学時に岩国市中心部方面への渋滞が発生し、日常生活の移動に支障が生じている
	事故 (国道188号で多発する死傷事故) ・国道188号(対象区間)には、全国平均死傷事故率(73.7件/億台キロ)を上回る箇所が藤生交差点など10箇所存在。	(交差点からの出入り交通や渋滞等に起因した追突事故が発生) ・南北方向の幹線道路が国道188号のみであるため、交通が集中し混雑が発生。 ・沿道から出入りも多く、走行性が悪い。	③交差点付近や渋滞発生時に交通事故が多発し、交通安全の確保の妨げとなっている
	防災 (自然災害に対し脆弱な国道188号) ・対象区間には越波による事前通行規制区間が存在。	(越波等による通行規制が発生) ・国道188号は海岸沿いを通行するため、越波や高潮、路面冠水の影響を受けやすい。	④海岸沿いを通過する区間において越波等により通行止めが発生し、大幅な迂回が生じるなど、防災上の課題を有している
その他			①～④以外に困っている点、改善してほしい点について自由回答

調査目的2. 地域における道路整備の期待度の把握

質問3 質問1、2で挙げた問題を解決するために、国道188号(藤生～長野付近)の道路整備が必要と思うか

2. 第1回意見聴取の概要

3) 意見聴取の方法・対象者と回収率

調査種別	対象者	実施期間	対象地域・団体等	配布件数	回収件数	回収率	
アンケート	住民	岩国市(旧岩国市)	平成29年7月24日(月)～8月31日(木)	岩国市(旧岩国市)	46,939	10,427	22.2%
		岩国市(旧由宇町)	〃	岩国市(旧由宇町)	3,650	1,433	39.3%
		和木町	〃	和木町	2,641	426	16.1%
		その他	〃	岩国市のうち旧市町まで記載がないもの、その他市町	-	170	-
		WEB調査	〃	山口河川国道事務所のHPIにWEBアンケート掲載	-	241	-
	合計	-	-	53,230	12,697	23.9%	
	事業所	沿線事業所	平成29年7月24日(月)～8月31日(木)	岩国市(旧岩国市・旧由宇町)、和木町、柳井市の事業所	3,278	1,257	38.3%
		WEB調査	〃	山口河川国道事務所のHPIにWEBアンケート掲載	-	9	-
		合計	-	-	3,278	1,266	38.6%
	道路利用者	常設	平成29年7月24日(月)～8月31日(木)	道の駅、観光地、官公庁等にてアンケート票を配布(36箇所)	3,850	1,223	31.8%
WEB調査		〃	山口河川国道事務所のHPIにWEBアンケート掲載	-	209	-	
合計		-	-	-	1,432	-	
合計	-	-	-	-	15,395	-	
ヒアリング	関係自治体	平成29年9月5日(火)～9月22日(金)	沿線地域の自治体	-	2	団体・企業	
	医療関連	-	警察署・消防署・病院	-	4	団体・企業	
	観光	-	観光協会	-	2	団体・企業	
	商工関連	-	商工会議所、商業施設	-	9	団体・企業	
	製造業関連	-	製造業	-	12	団体・企業	
	物流業関連	-	トラック協会、物流事業者	-	2	団体・企業	
	交通関連	-	バス会社	-	1	団体・企業	
	合計	-	-	-	-	32	団体・企業

回収率を上げるための取組み

■ 道路利用者アンケート実施状況・ポスター掲示状況



▲道の駅「上関海峡」

■ WEBアンケート実施状況



▲山口河川国道事務所HP

■ バナー設置状況



▲岩国市HP



▲柳井市HP

■ チラシ

(広報いわくにに8月15日号に折込)

第1回アンケート調査 実施中
 アンケート調査にご協力をお願いします!
 実施期間 平成29年7月24日(月)～8月31日(木)

アンケート調査の目的
 地域の皆さまや道路利用者の方々の意見を道路計画に反映するためのアンケートです。

アンケート調査の方法
 7月下旬に、地域にお住まいの方々に対象の「住民アンケート」を郵送いたします。下記のような封筒が送られてまいります。回答はがきに回答を記入し、郵便ポストに投函をお願いします。対象の皆さまには郵便物に「巻封書」が添付された状態で、パソコン・スマートフォンからでも回答できます。また、巻封書に添付された地図や巻封書、行政機関等に「住民アンケート」として「住民アンケート」を提出していただくことも可能です。

アンケート調査の日程

1. 配布開始
2. 配布完了
3. 回収開始
4. 回収完了
5. 結果発表(モニター発表会)
6. 結果発表(モニター発表会) 結果発表会
7. 結果発表(モニター発表会) 結果発表会
8. 結果発表(モニター発表会) 結果発表会
9. 結果発表(モニター発表会) 結果発表会
10. 結果発表(モニター発表会) 結果発表会
11. 結果発表(モニター発表会) 結果発表会
12. 結果発表(モニター発表会) 結果発表会
13. 結果発表(モニター発表会) 結果発表会
14. 結果発表(モニター発表会) 結果発表会
15. 結果発表(モニター発表会) 結果発表会
16. 結果発表(モニター発表会) 結果発表会



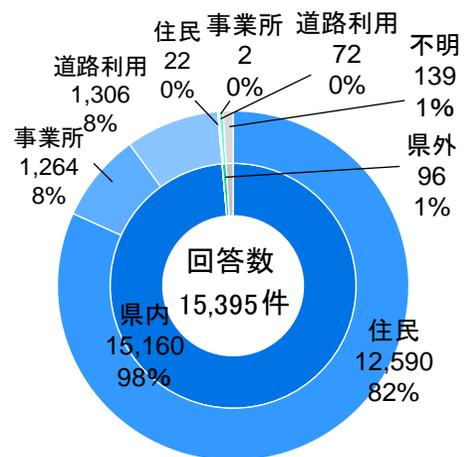
3. 第1回意見聴取の結果

3. 第1回意見聴取の結果

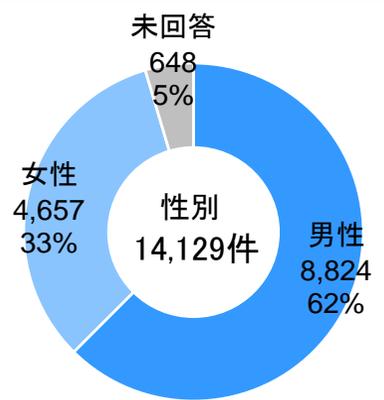
1) 属性①

- 住民約12,700人、道路利用者約1,400人、事業所約1,300社から合計約15,400件の意見聴取を実施。
- 回答者のうち、旧岩国市、旧由宇町からの回答が約9割を占める。
- 回答者の性別は約6割が男性であり、年代としては50代までが約4割を占める。

アンケート回収状況

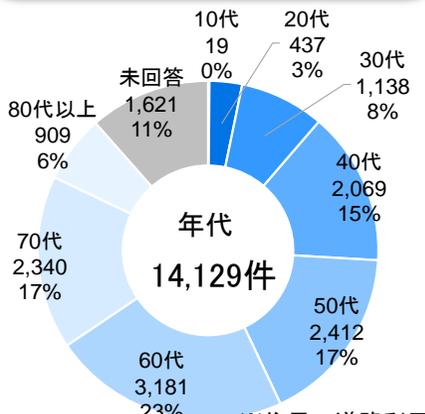


性別



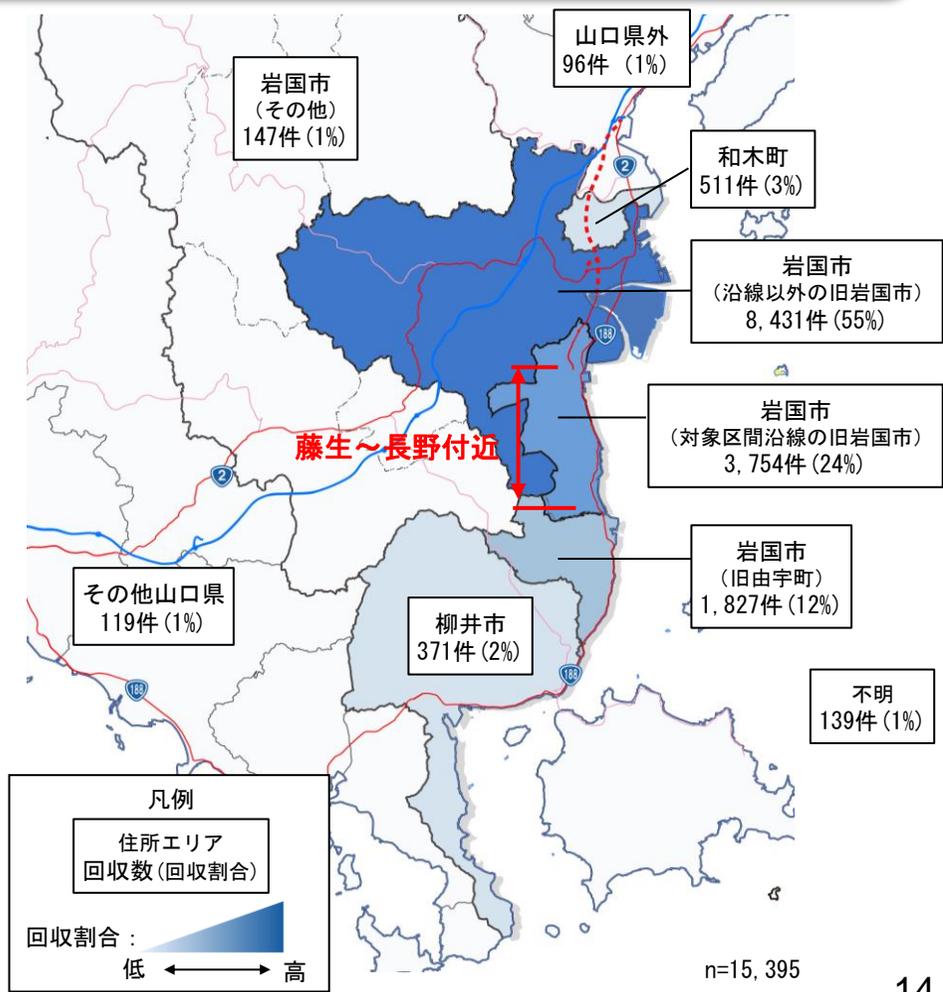
※住民、道路利用者のみ

年代



※住民、道路利用者のみ

住所

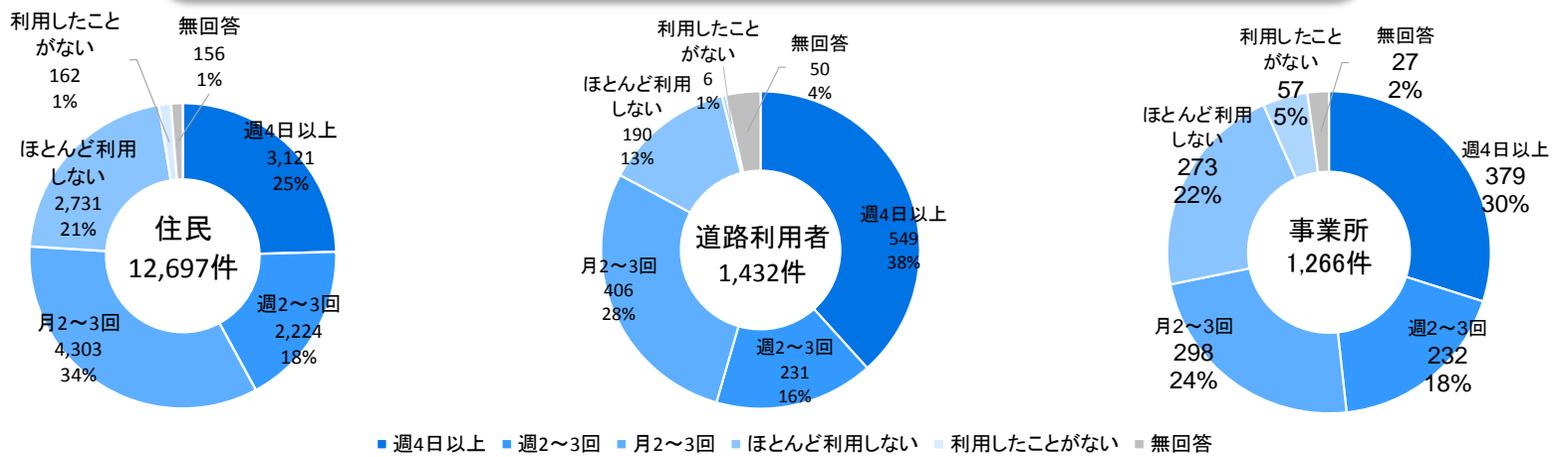


3. 第1回意見聴取の結果

1) 属性②

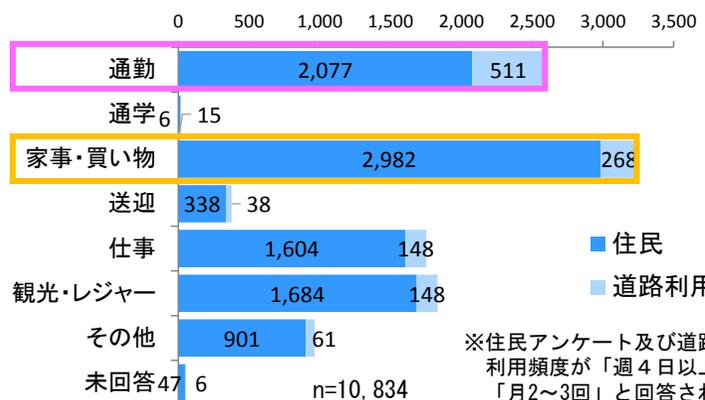
○回答者の7割以上が当該区間(藤生～長野付近)を「月2～3回以上利用している」と回答。
 ○住民と道路利用者の利用目的は「家事・買い物」「通勤」と回答した方が多く、旧岩国市内の移動、旧岩国市と旧由宇町・柳井市間の移動が約9割を占める。

現在の国道188号(藤生～長野付近)の利用頻度

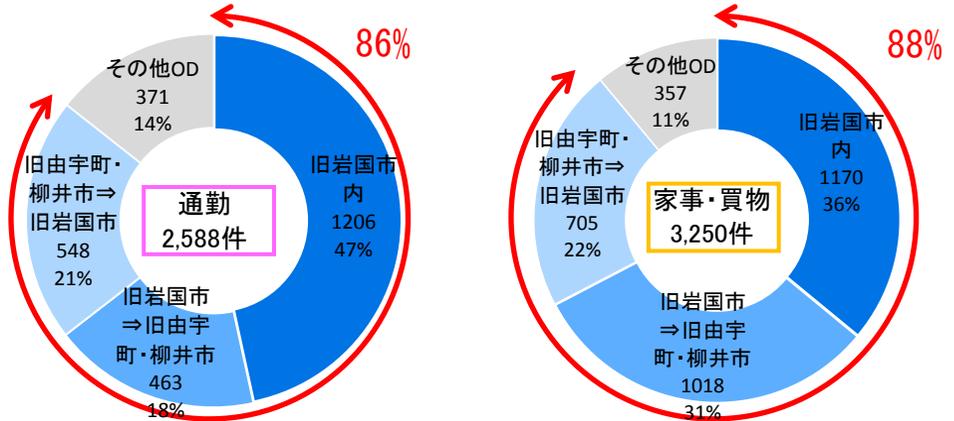


現在の国道188号(藤生～長野付近)の利用目的

高頻度利用者の利用目的



目的別のOD内訳



※住民アンケート及び道路利用者アンケートで利用頻度が「週4日以上」、「週2～3回」、「月2～3回」と回答された方のみ対象

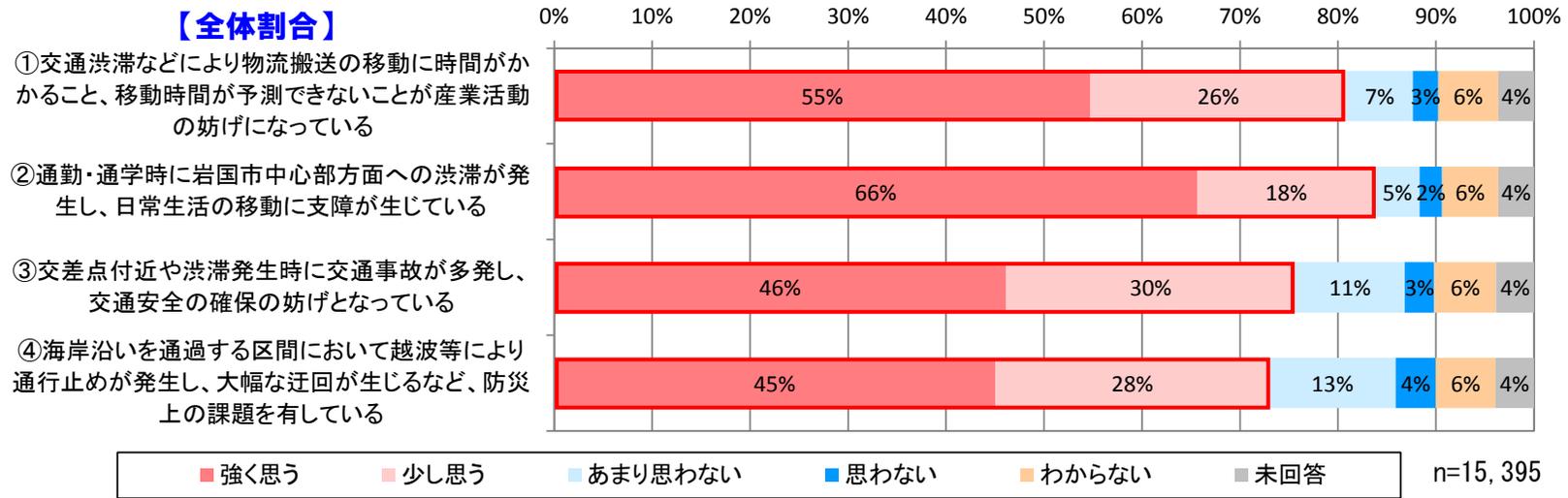
3. 第1回意見聴取の結果

2) 交通課題（アンケート）

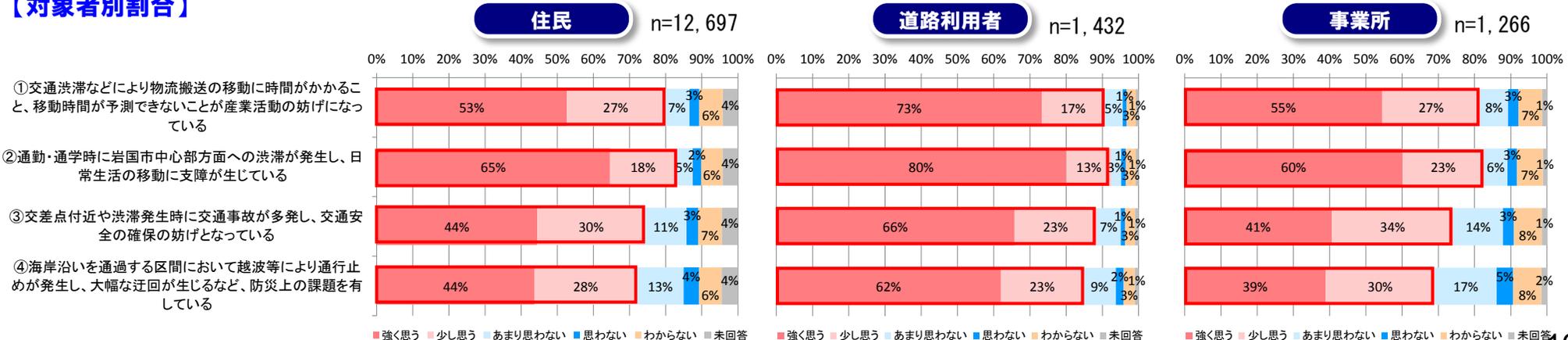
○藤生～長野付近の交通課題としては、「通勤・通学時に渋滞が発生し、日常生活の移動に支障が生じている」、「物流搬送の移動に時間がかかり、移動時間が予測できないことが産業活動の妨げになっている」といった点に問題があるという声が多い。

Q:【5段階評価の当てはまるa～eに○をして下さい。】
 国道188号「藤生～長野付近」には、①～④の交通問題があると考えています。

【全体割合】



【対象者別割合】



3. 第1回意見聴取の結果

3) 交通課題（アンケート自由意見）

○交通課題に関する自由意見については、渋滞を懸念する声に次いで、交通安全に対する意見が多い。

分類	回答者属性	自由意見	
産業に関する意見【33件】	住民/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/60代男性	会社の車両の通行ルートが188号となっているため、通行止め等になったとき、納入時間に遅れることがある。（特車の通行許可ルート）	
渋滞に関する意見【1,481件】	住民/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/30代男性	地方の街にしては朝の渋滞が長く、住みやすさを感じにくいと思う。渋滞にかかる地区には住みたくない。	
	住民/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/50代男性	上りの渋滞が毎日で迂回路がないので朝の出勤時間が早くなるので辛い。	
	道路利用者/柳井市/50代男性	朝夕の交通渋滞がひどい。特に、錦帯橋空港を利用する場合かなり余裕をもって行く。時間が勿体ない。	
交通安全に関する意見【1,052件】	住民/岩国市（旧由宇町）/40代男性	藤生地区は、高齢者が自動車にひかれる交通事故が多く、問題解決には交通渋滞の解消が必要。1日も早く通津までの岩国南バイパスの延長をよろしく願います。	
	道路利用者/山口県外/20代女性	歩道が整備されておらず、歩行者が危険な状態である。（青木町～南岩国まで）自転車での通学も多いため、歩行者が危険である。	
防災（代替路）に関する意見【855件】	道路利用者/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/50代男性	大地震が発生した時、山際を走る道ばかりであり、逃げ場がない。	
	住民/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/30代男性	片側1車線なので、何かあれば通行止めになってしまう。迂回路を作って欲しい。	
	道路利用者/柳井市/50代女性	南海トラフの危険もあり陸地側に道路があると安全の確保ができると思います。	
医療に関する意見【66件】	住民/岩国市（対象区間沿線）/60代男性	交通渋滞時、緊急車両の到着遅れによる助かる命が救われず、火災等による大切な財産が、失われる可能性が、非常に多大である。	
	企業/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/医療・福祉業	利用者の自宅訪問、送迎、医院へ行く場合渋滞に遭遇する場合があります。迂回路もないため、大変な支障がでている。	
その他	道路整備に関する意見【765件】	企業/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/製造業	岩国南バイパスを延長すれば全てにおいて解消できるので早期に着工して欲しいものである。
	景観に関する意見【12件】	住民/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/60代男性	国道周辺の環境整備が必要美観を保持する事が大切。
	環境に関する意見【40件】	住民/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/60代男性	利便性を優先するあまり自然破壊、環境の悪化が心配である。
	維持管理に関する意見【77件】	住民/岩国市（対象区間沿線）/60代男性	路面の劣化が特に気にかかります改善してほしいです。国道188号線上下大雨の時特に困っている。
	道路構造に関する意見【733件】	住民/岩国市（対象区間沿線）/40代男性	歩道が少ない。押ボタン信号が多い（車から降りて押す必要あり）。カーブが多く、道が狭い。
	反対意見に関する意見【48件】	住民/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/年齢不明男性	何年か前の調査で必要とされた歩道が、少子化の為、不要になった今、起工されている。税金のムダでは？
	その他【540件】	道路利用者/岩国市（沿線以外の旧岩国市）/40代男性	国交省の工事で昼間に片側通行になることがあるのが困る。夜間にしてほしい。

回答数：5,702件

3. 第1回意見聴取の結果

4) 交通課題（ヒアリング調査における主な意見）

○渋滞に関する意見、医療に関する意見、産業活動に関する意見等を頂いた。

分類		主な意見
産業に関する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・事故による渋滞で指定時間に搬送物が来ずに、困ったことがあった。生産ラインで作業順番が決まっているため、搬送物が来なかった場合は、作業順序を変える必要がある。その結果、納期が遅れるという事態に陥ったこともある。（製造業） ・企業誘致の際には交通アクセスの面で敬遠されることがある。通津沖工業団地は工業用水があるので使い勝手がよく、活用したいと考えている。（岩国市） ・ドライバーがいなくて、非常にコストが高くなっている。ドライバー不足の要因として、道路が渋滞してなかなか目的地にたどり着けず、それにより収入が減っているということが背景にある（製造業）
渋滞に関する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、潮風公園から岩国駅までの間で渋滞している。通常時50分で行けるところを1時間4分で設定している。所要時間14分ほど多くとっていても時刻表通りに到着しない。渋滞する時間帯に岩国駅まで20分遅れがよくある。（バス事業者） ・商品の入荷分に影響がある。由宇店から来るトラックが渋滞に巻き込まれる。（小売業） ・広島への製品搬出ルートは、朝7時～10時頃までは国道188号上りが非常に混雑するため、玖珂ICから山陽道を利用するルートを使用している。昼・夕方は、岩国ICから山陽道を利用するルートを使用している。（製造業） ・始業は7時45分であるが、早い人は6時半～7時頃にきている。それより後だと混むため。（運輸業） ・右折車がいるとすぐに渋滞が発生する。上りはあまりないが、下り方向で右折できないため後続車が並ぶ。（運輸業） ・夜勤の人が多く、夜勤明けで岩国・広島方面に帰る人はどうしても渋滞に巻き込まれる。（製造業）
交通安全に関する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞を回避する交通が、生活道路に流入して危険となっていることが一番の課題と考えている。（岩国市） ・国道188号は全般的に幅員が狭くて、線形が悪く、見通しの悪い箇所が多いので危険を感じる。（製造業）
防災（代替路）に関する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・台風シーズンや冬、車両故障で遅延連絡をすることはある。台風が来るときは毎年連絡している（運輸業） ・高速道路が通行止めになると必ず国道188号を利用しているが、その際の国道188号の交通量は多く、約1時間遅れる。（運輸業）
医療に関する意見		<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞により診察予約時間に遅れたり、キャンセルをする患者がいる。（病院） ・岩国医療センターが柳井市にとって救急搬送が多い病院となっているため、藤生辺りの区間は困っている。（柳井市） ・藤生、黒磯地区の道幅の狭さや歩道や路側帯がない箇所での追い越し等に気を遣う。渋滞していればなおさら。急カーブや急ブレーキは患者への負担がかかる。（消防署）
その他	地域活性化に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・由宇練習場と潮風公園ができたことで多くの観光客が訪れている。しかし、道が一つしかないのは自然災害や交通事故で通行止めになった際、観光面から見て困る。（商工会）

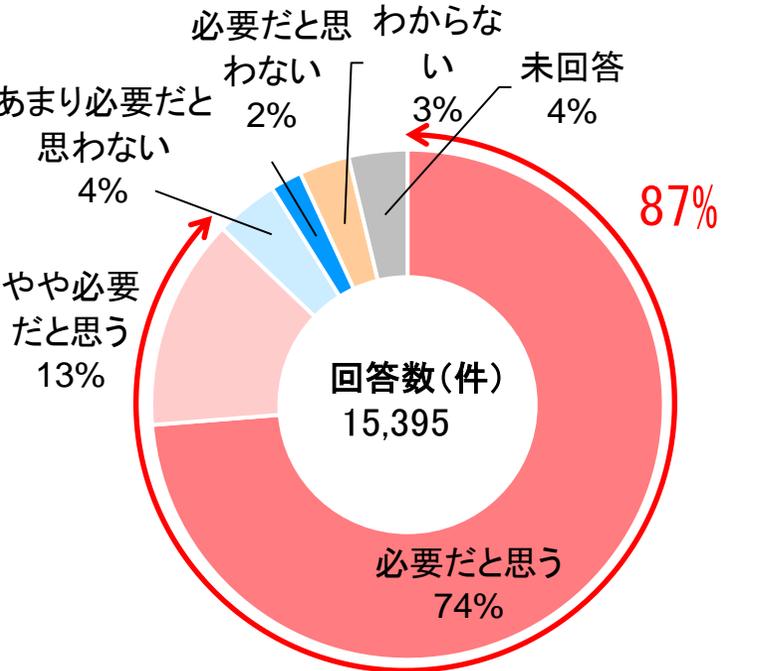
3. 第1回意見聴取の結果

5) 道路整備の必要性 (アンケート)

○道路整備が「必要だと思う(必要+やや必要)」と回答した人の割合は約9割を占める。
 ○「必要だと思う」と回答した人は、特に「②通勤・通学時に岩国市中心部方面への渋滞が発生し、日常生活の移動に支障が生じている」との問題を感じている。

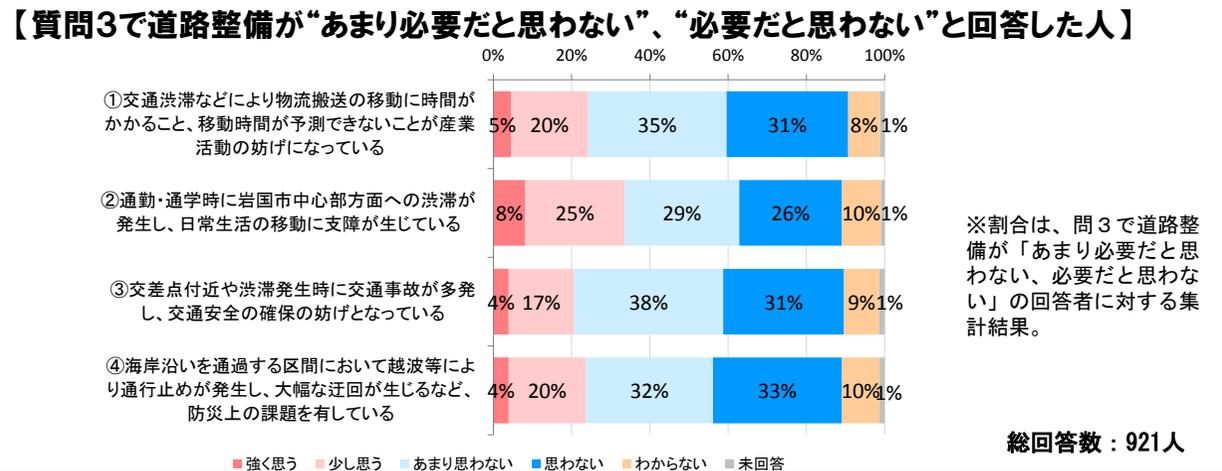
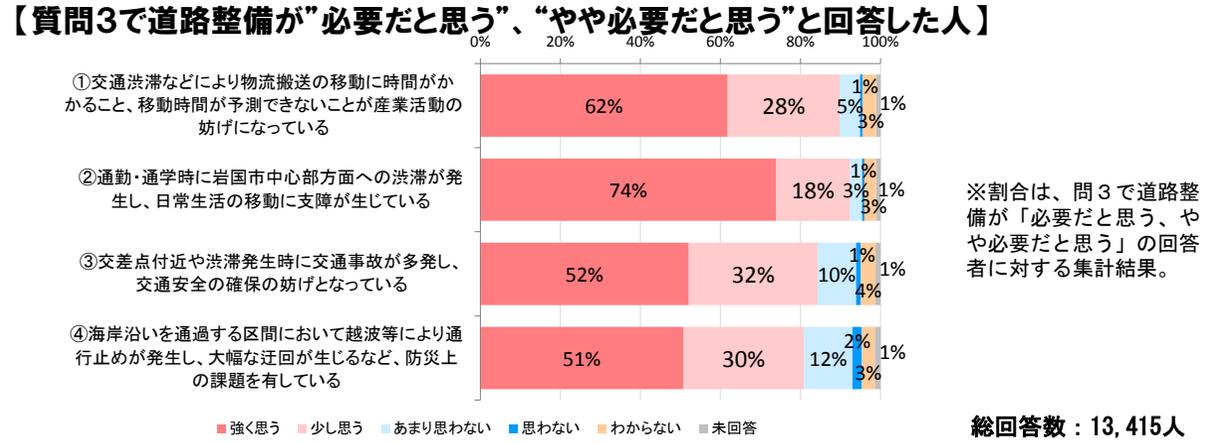
道路整備の必要性

質問3:【5段階評価の当てはまるa~eに○をして下さい。】
 質問1に挙げた問題を解消するために、国道188号「藤生～長野付近」の道路整備が必要だと思いますか。



交通課題

質問1:【5段階評価の当てはまるa~eに○をして下さい。】
 国道188号「藤生～長野付近」には、①～④の交通問題があると考えています。



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。 19

3. 第1回意見聴取の結果

6) 自由回答（アンケート自由意見）

○道路整備に関する声が多く、次いで、渋滞、防災（代替路）、交通安全、医療等の分野に関する声が多い。

分類	回答者属性	自由意見	
産業に関する意見【19件】	住民/岩国市(対象区間沿線)/60代男性	経済停滞は、全てに波及するのではないと思う。まずは、産業活動を優先にしてこそ、市民を守れると思う。	
渋滞に関する意見【744件】	道路利用者/岩国市(その他)/40代女性	渋滞する事が確実なので、時間を早めに設定するが少しでも緩和されると時間の有効活用ができて助かります。	
	企業/柳井市/建設業	渋滞が解消されれば、より多くの人利用されると思います。	
交通安全に関する意見【269件】	住民/岩国市(対象区間沿線)/50代女性	藤生地区は特に道幅が狭いので事故も多く事故があった時よけて通る事もできないので大渋滞になってしまう。	
防災(代替路)に関する意見【315件】	住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/60代女性	台風の時や大風の時、越波の時は本当に怖い道路です。改善の必要は大だと思います。	
	道路利用者/岩国市(対象区間沿線)/70代男性	安全・安心対策事業は沢山ありますが、中でも道路問題は、孤立等を考えれば最優先されるべきと考える。災害等が起きて緊急対策を行う前に実施する事を願います。アンケート以前に即、実施と考える。	
	道路利用者/山口県外/60代男性	188号が1本というのが問題だと思うのもう1本メイン道路を作るなり高速道路とつなげるのも手だと思う。	
医療に関する意見【25件】	企業/岩国市(対象区間沿線)/その他サービス業	「国道188号の交通渋滞に救急車両が走行難」市南部に住む者にとって、岩国南バイパスの南伸は必要不可欠なものです。国立病院岩国医療センターが移転した現在の救急医療対策及び交通事故、災害時等に国道188号が1本である為の対策として岩国市藤生町から柳井市までの早期整備を希望致します。	
その他	道路整備に関する意見【2,232件】	住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/70代女性	岩国南BPと同様に現道(国道188号)と少し距離をあけて山側に道路を通してほしい。移転補償、用地買収の面から。
		住民/岩国市(対象区間沿線)/70代男性	生活道路と、地域移動道路と区別する事が生活環境の改善につながると思う。
		住民/岩国市(旧由宇町)/30代男性	渋滞、事故、越波が起きている時間と区間は限られていることから、原因を分析し、必要最小限の費用と時間で、大きい効果を得られる道路改良の方法を検討して頂きたい。
		住民/岩国市(対象区間沿線)/40代男性	通津住民として、長年の課題です。早急の実現をよろしく願います。
	環境に関する意見【11件】	住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/60代男性	移動することによって環境にも良い道路(CO2削減、騒音軽減等)を考慮するとよいと思う。
	景観に関する意見【33件】	住民/岩国市(対象区間沿線)/70代男性	素晴らしい景観を有する瀬戸内海の眺望を最大限に発揮するようにして観光にも考慮した道路建設をお願いしたい。
	維持管理に関する意見【94件】	住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/50代女性	これから少子化となり人口も減っていく中、後々の道路の維持管理を考えて新しい道路は作ってもらいたいです。
	道路構造に関する意見【217件】	住民/岩国市(対象区間沿線)/40代男性	道を広くしてほしい。藤生は歩行者通路をはっきり確保して、カーブを減らしてほしい。車のスピードがでるわりに、歩行者(横断歩道)がみえにくい。
	反対意見に関する意見【160件】	住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/30代男性	道路の新設は止めて下さい。今後の維持管理の事を考えたら、作らないが最善の策です。
	その他【1,157件】	住民/岩国市(沿線以外の旧岩国市)/40代男性	改善はしたほうがいいと思うがその為の工事による渋滞等は避けてほしい。

3. 第1回意見聴取の結果

7) 道路整備による期待する効果（ヒアリング調査における主な意見）

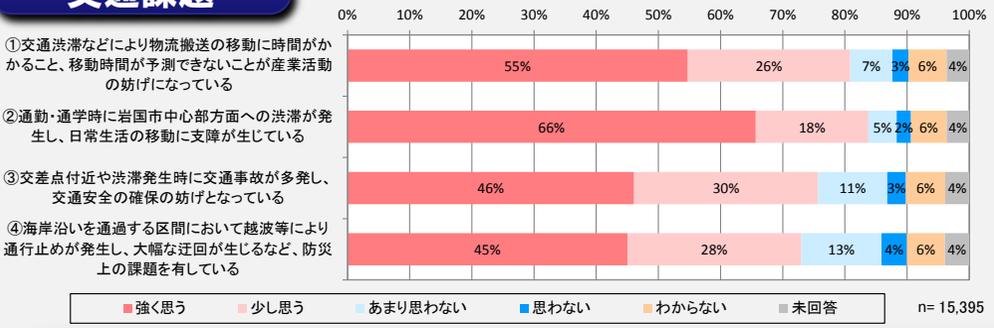
○産業の活性化、地域の活性化、渋滞緩和効果、医療に関する効果等に期待が寄せられている。

分類	主な意見
産業に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・高速な道路が会社の近くにできた場合、時間が読めるし時間短縮が出来るためメリットが大きい。信号がなくて60km/hで走れる道路はメリットが大きい(製造業) ・来年敷地内に新しい工場ができる予定である。バイパスができることは、今以上にメリットが大きい。(製造業) ・国道188号の渋滞対策と併せて、岩国大竹間の渋滞も緩和してくれるとありがたい。(製造業) ・道路整備が進むことでドライバーの拘束時間が短縮されるため、人件費や燃料費を削減できる。(運輸業) ・道路ができれば、長時間の積み込み作業ではなく朝荷積みをして通常より少し早く出発して往復する回数を増やせる可能性がある。(運輸業) ・最近、車の回転数を考慮して通津工業団地に倉庫を借りることにした。「将来道路ができるかも知れない」ということで、会社としては期待している。(運輸業)
渋滞に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の通勤に関して影響が大きいと思う。(運輸業) ・時刻表通りに到着すれば利用客数を増やせる。(バス事業者) ・渋滞が解消されれば、店舗に早く、且つ定刻通りに到着でき、2便・3便等の配送が可能となる。(運輸業) ・渋滞緩和されることで、工場への到着時間が読めるため高速を使わなくて済む可能性がある。(運輸業)
交通安全に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道がない区間があるため片側だけでも歩道ができたら安全性が向上する。(警察)
防災(代替路)に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・山陽自動車道が止まった時に迂回しているが、バイパスが整備されれば、その経路にシフトする可能性がある。道路としてはあったほうがもちろんいい。(製造業) ・道路の幅員が広ければ片側交互通行も可能となるのではないか。(製造業)
医療に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・介護を要している患者を施設や病院等で長期間受け入れられないため、自宅に訪問して介護する傾向がある。独居の障害者は毎食ヘルパーが作りに行くため、渋滞に困っていた。渋滞がなければアフターフォローなど手厚い介護ができる。(病院) ・バイパスを使って国道188号の方が少なくなればそちらを通り、スムーズにバイパスに乗れたら少しでも早く患者を搬送することができる。(消防署)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・道路が完成すれば顧客が増える。南バイパスが開通した翌月からの1年間の前年比で売り上げが111%上昇した。(商業施設) ・空港からの時間が短縮されたら観光客の誘致も違ってくる可能性がある。(柳井市) ・道路整備による効果としては、岩国南バイパスの開通によって大型商業施設が進出している岩国市平田地区へ柳井からのアクセス性が向上した。(柳井市) ・国道188号は観光客に人気の道であり、渋滞が緩和すれば案内がしやすくなる。車利用者が来られやすくなると観光できる場所が増える。(観光協会) ・岩国大竹道路を整備をした方が岩国地域の観光面で考えると望ましい。(観光協会) ・岩国医療センター跡地について、新たな福祉の交流拠点としての利用を検討している(岩国市)

3. 第1回意見聴取の結果

8) まとめ

交通課題



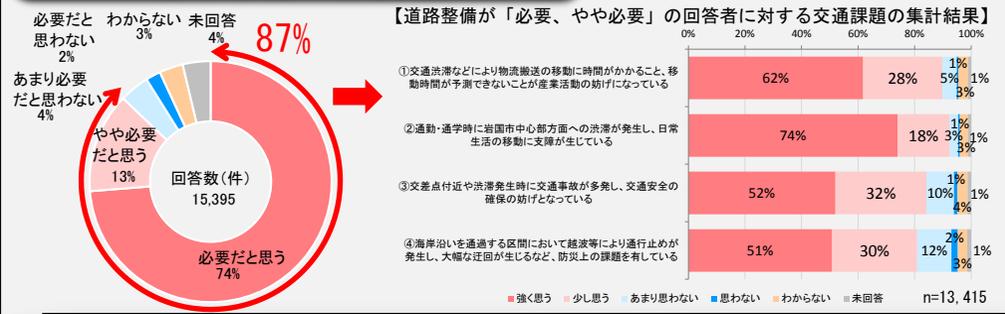
【アンケートの主な自由意見】

- ・会社の車両の通行ルートが国道188号となっているため、通行止め等になったとき、納入時間に遅れることがある。(住民:産業)
- ・朝夕の交通渋滞がひどい。特に、錦帯橋空港を利用する場合かなり余裕をもって行く。時間が勿体ない。(道路利用者:渋滞)
- ・藤生地区は、高齢者が自動車にひかれる交通事故が多く、問題解決には交通渋滞の解消が必要。1日も早く通津までの岩国南バイパスの延長をよろしくお願いします。(住民:交通安全)
- ・大地震が発生した時、山際を走る道ばかりであり、逃げ場がない。(道路利用者:防災)
- ・利用者の自宅訪問、送迎、医院へ行く場合渋滞に遭遇する場合があります、迂回路もないため、大変な支障がでている。(企業:医療)

【ヒアリングの主な意見】

- ・事故による渋滞で指定時間に搬送物が来ず、困ったことがあった。(製造業:産業)
- ・毎朝、潮風公園から岩国駅までの間で渋滞している。通常時50分で行けるところを1時間4分で設定している。所要時間14分ほど多くとっていても時刻表通りに到着しない。渋滞する時間帯に岩国駅まで20分遅れがよくある。(バス事業者:渋滞)
- ・渋滞を回避する交通が、生活道路に流入して危険となっていることが一番の課題と考えている。(岩国市:交通安全)
- ・台風シーズンや冬、車両故障で遅延連絡をすることはある。(運輸業:防災)
- ・岩国医療センターが柳井市にとって救急搬送が多い病院となっているため、藤生辺りの区間は困っている。(柳井市:医療)

道路整備の必要性



【アンケートの主な自由意見】

- ・経済停滞は、全てに波及するのではないと思う。まずは、産業活動を優先にしてこそ、市民を守れると思う(住民:産業)
- ・渋滞する事が確実なので、時間を早めに設定するが少しでも緩和されると時間の有効活用ができて助かります。(道路利用者:渋滞)
- ・藤生地区は特に道幅が狭いので事故も多く事故があった時よけて通る事もできないので大渋滞になってしまう。(住民:交通安全)
- ・台風の時や大風の時、越波の時は本当に恐い道路です。改善の必要は大だと思います。(住民:代替性)
- ・「国道188号の交通渋滞に救急車両が走行難」市南部に住む者にとって、岩国南バイパスの南伸は必要不可欠なものです。(企業:医療)
- ・通津住民として、長年の課題です。早急の実現をよろしくお願いします。(住民:早期整備)

【ヒアリングの主な意見】

- ・高速な道路が会社の近くに来た場合、時間が読めるし時間短縮が出来るためメリットが大きい。信号がなくて60km/hで走れる道路はメリットが大きい。(製造業:産業)
- ・時刻表通りに到着すれば利用客数を増やせる。(バス事業者:渋滞)
- ・歩道がない区間があるため片側だけでも歩道ができれば安全になる。(警察:交通安全)
- ・道路の幅員が広ければ片側交互通行も可能となるのではないか。(製造業:防災)
- ・バイパスを使って国道188号の方が少なくなればそちらを通り、スムーズにバイパスに乗れたら少しでも早く患者を搬送することができる。(消防署:医療)
- ・国道188号は観光客にとって人気の道なため、渋滞が緩和すれば案内がしやすくなる。車利用者が来られやすくなると観光できる場所が増える。(観光協会:地域発展)

まとめ

- 第1回小委員会で整理した地域の課題や政策目標は、妥当であることを確認した。
- 住民、道路利用者、企業の多くが道路整備の必要性を感じている。
- 道路整備を行うことが産業支援、渋滞緩和、交通事故の減少、防災機能の向上につながると期待している。

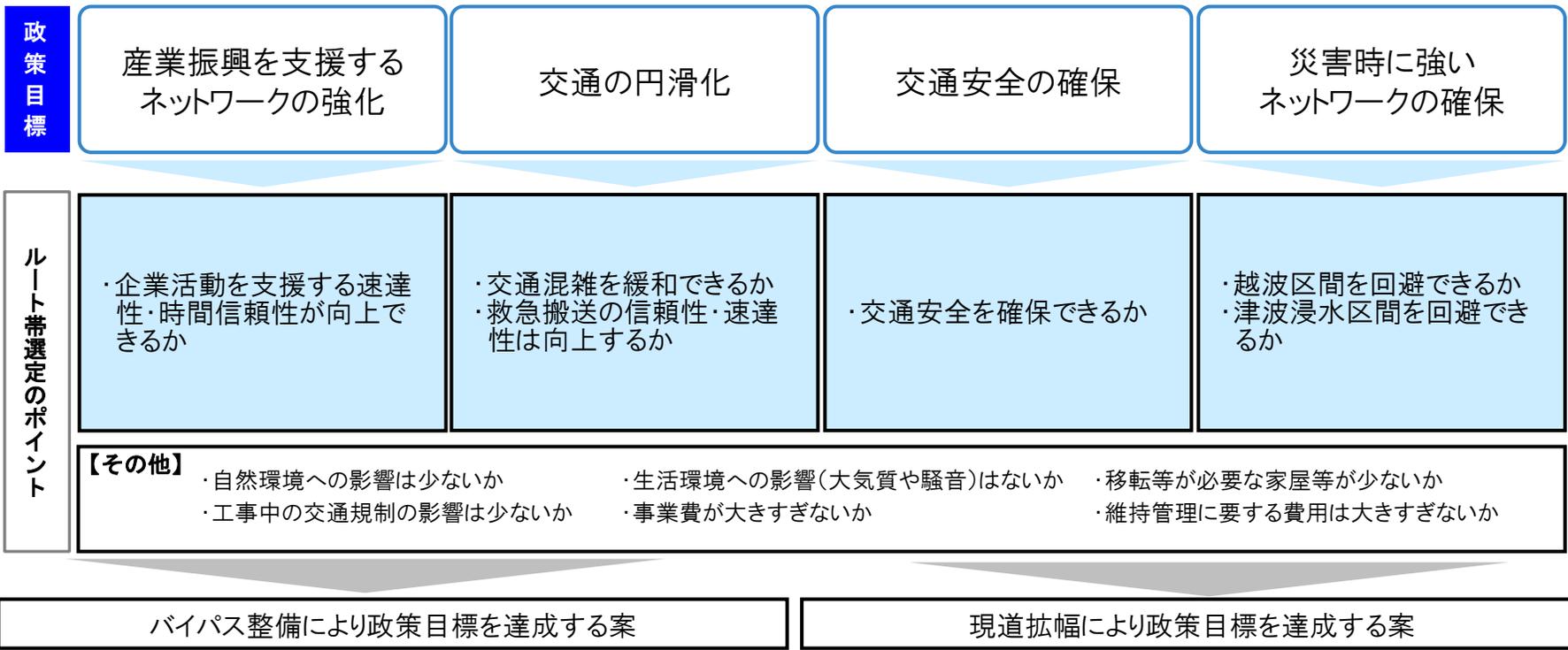
政策目標を達成するための機能を有するルートを検討

4. 対応方針（原案）の検討

4. 対応方針（原案）の検討

1) 対応方針（ルート帯案）の考え方

- 第1回意見聴取で地域の課題や政策目標などについて確認したことから、コントロールポイントなどを踏まえてルート帯案を設定する。
- 設定したルート帯案が各政策目標にどのように資するのかなどを整理し、第2回意見聴取で地域がより重視するルート帯選定のポイントを設定することで、地域のニーズを十分に踏まえたものであるかを確認する。



【案①】 全線バイパス案

【案②】 部分バイパス＋現道拡幅案

【案③】 現道拡幅案

4. 対応方針（原案）の検討

2) コントロールポイントの考え方

○ルート帯を検討する上での主なコントロールポイントとして、社会的状況、自然的状況等に配慮。

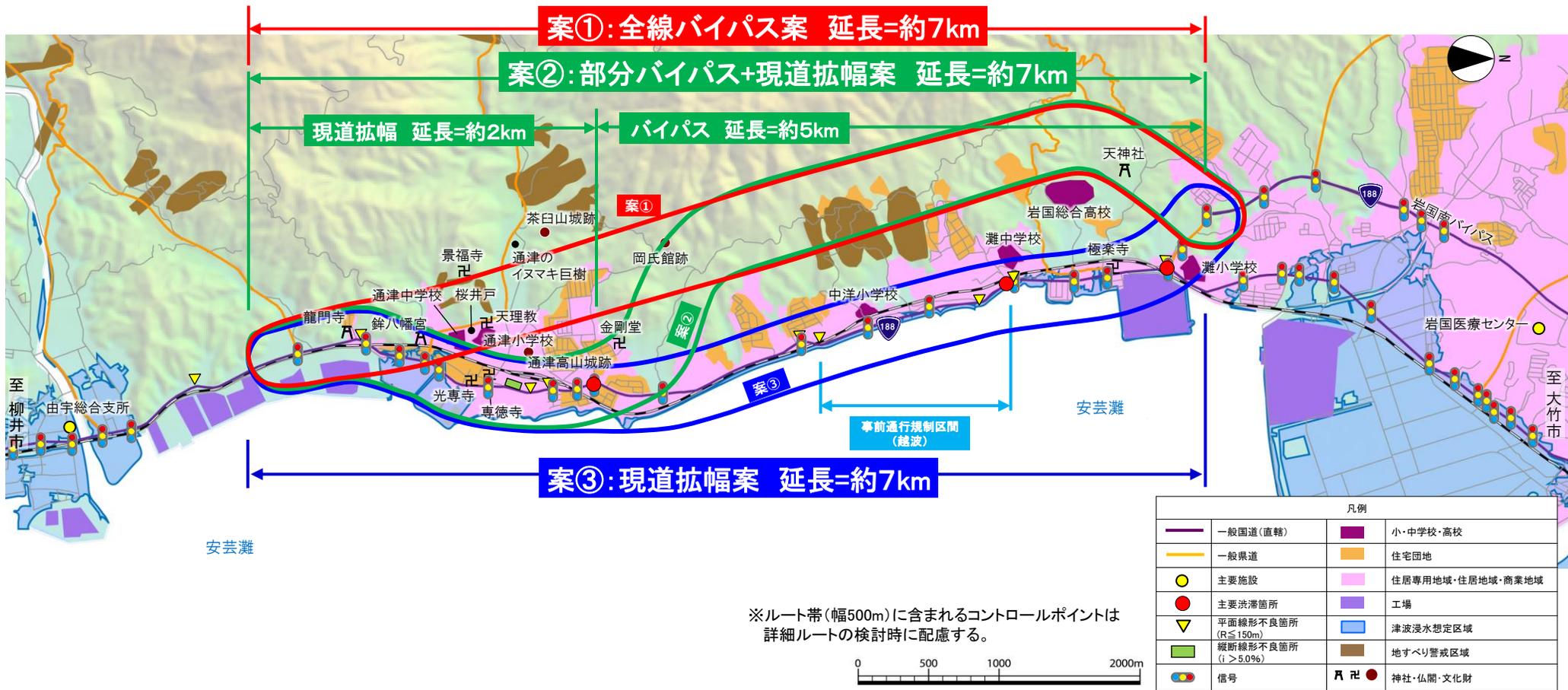


コントロールポイント	社会的状況による要因	学校(高校、中学校、小学校、幼稚園・保育園)、主要施設(役所、消防施設、鉄道施設、電力施設、水道施設、工業団地、主要商業施設)、神社仏閣(天神社、金剛堂、景福寺など)、埋蔵包蔵地(岡氏館跡、茶臼山城跡など)、住宅団地
	自然的状況による要因	通津のイヌマキ巨樹(山口県指定天然記念物)、桜井戸(環境庁名水百選)、貴重種の生息地(猛禽類など) 土石流警戒(特別)区域、急傾斜地崩壊警戒(特別)区域、地すべり警戒区域、津波浸水想定区域、事前通行規制区間(越波)

※コントロールポイントとは、道路の利便性を考慮して通過すべき地点や、社会的影響が大きく回避すべき建物等

4. 対応方針（原案）の検討

3) ルート帯案の概要



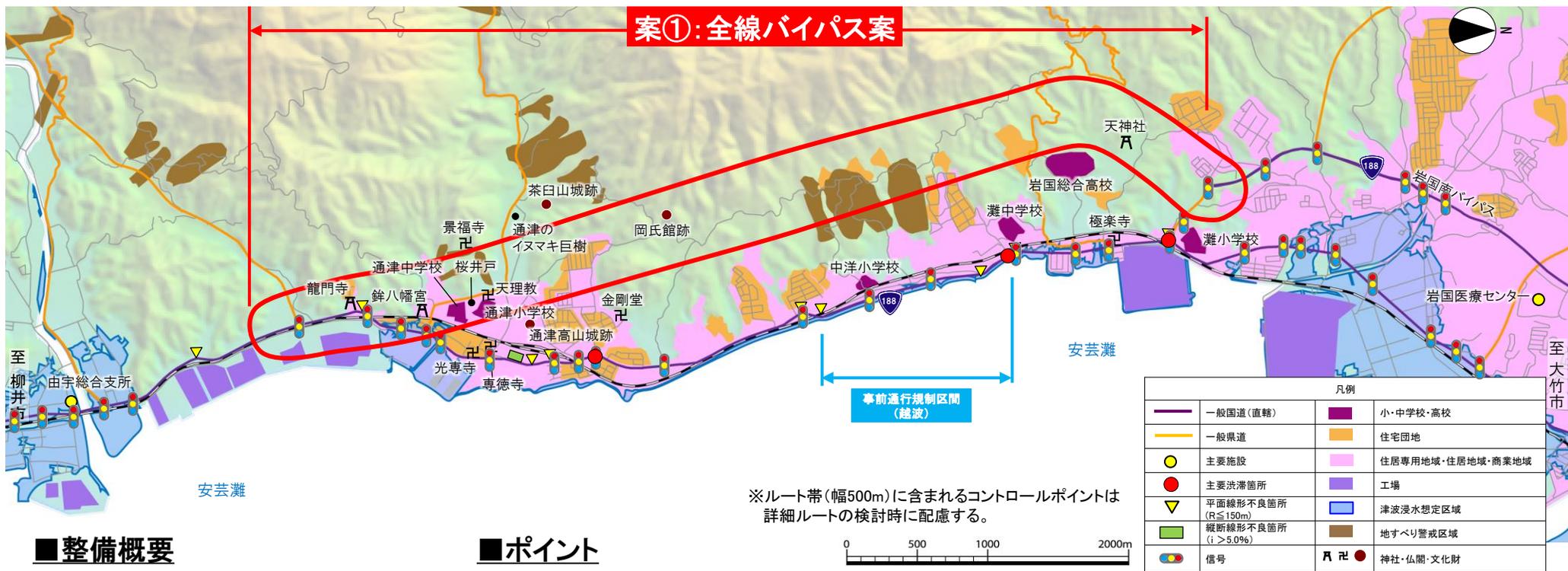
【特徴】○国道188号の渋滞区間や災害・事故などの現道課題を解消、及び南側の工業団地へのアクセスを考慮し、以下の案を検討する。

- 案①: 全線バイパス案** → 沿岸部の住宅団地と事前通行規制区間を回避する全線バイパス案
- 案②: 部分バイパス+現道拡幅案** → 事前通行規制区間をショートバイパスで回避し、残る区間を現道拡幅する案
- 案③: 現道拡幅案** → 現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案

4. 対応方針（原案）の検討

4) ルート帯案の概要【案①：全線バイパス案】

○沿岸部の住宅団地と事前通行規制区間を回避する全線バイパス案



■ 整備概要

延長	約 7 km
コスト	約 270～320 億円

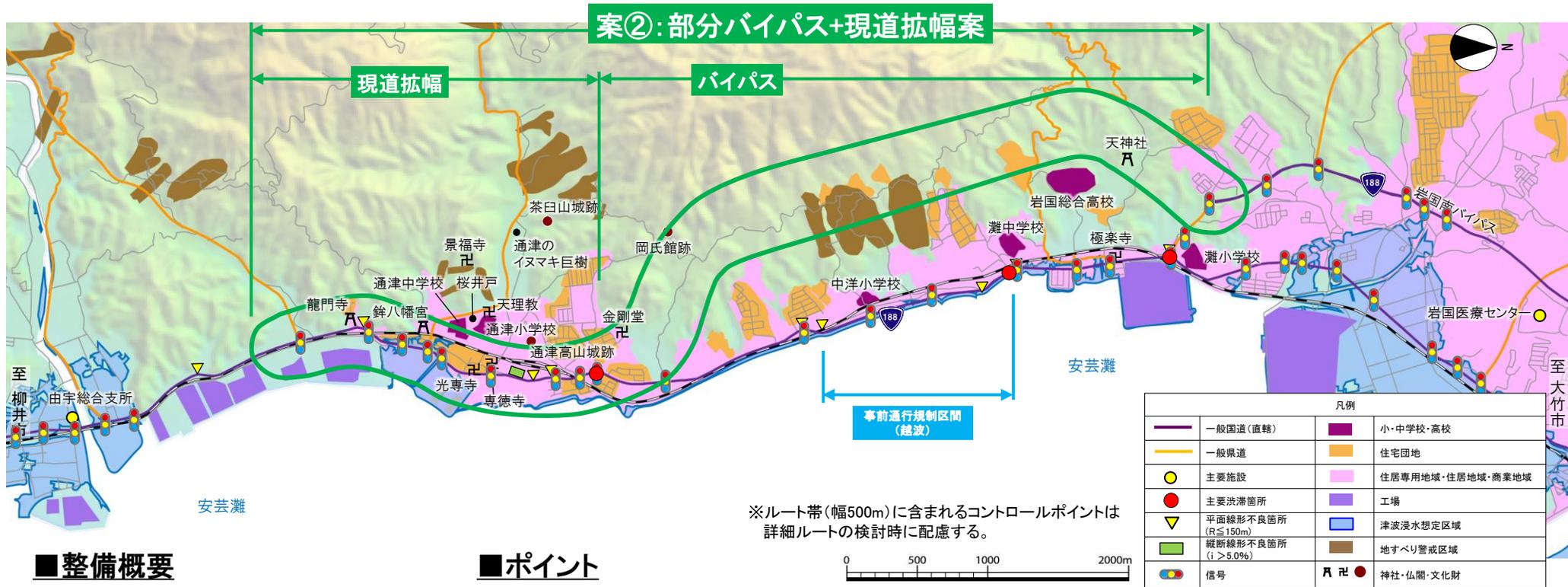
■ ポイント

- ・ 対象区間を通過する交通の速達性に最も優れる。
- ・ 対象区間をバイパスで整備することで交通容量を確保し、現道の混雑緩和が可能。
- ・ 対象区間全体で代替路が確保され、道路ネットワークの強化が可能。
- ・ 整備にあたり、自然環境への配慮が必要。

4. 対応方針（原案）の検討

4) ルート帯案の概要【案②：部分バイパス+現道拡幅案】

○事前通行規制区間をショートバイパスで回避し、残る区間を現道拡幅する案



■整備概要

延長	約7km
コスト	約290～340億円

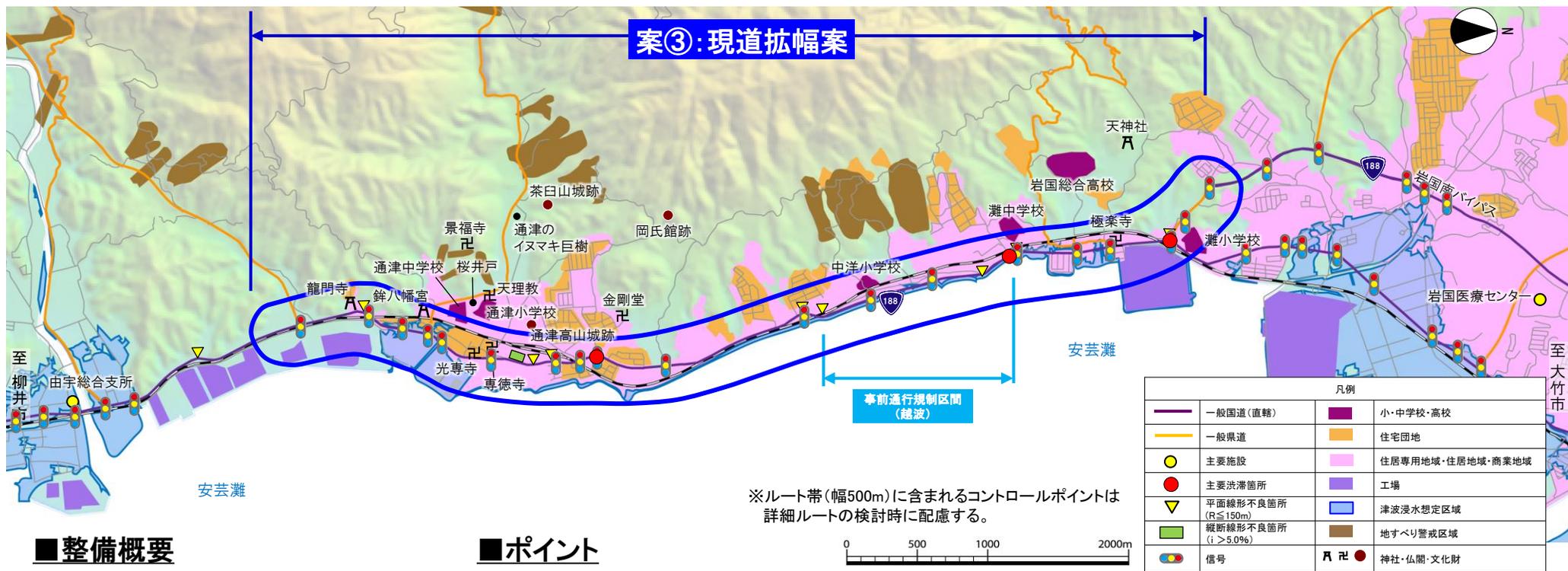
■ポイント

- 内容**
- ・バイパスと4車線拡幅整備を行うことで交通容量を確保し、現道の混雑緩和が可能。
 - ・事前通行規制区間を回避する代替路が確保され、道路ネットワークの強化が可能。
 - ・沿道に家屋が連なっている区間は道路幅員の拡幅等を行うため、支障家屋が多い。
 - ・整備にあたり、自然環境への配慮と工事中の交通規制に配慮が必要。

4. 対応方針（原案）の検討

4) ルート帯案の概要【案③：現道拡幅案】

○現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案



■ 整備概要

延長	約 7 km
コスト	約 410～460 億円 (越波対策費を含む)

■ ポイント

- 内容
- ・ 現道を 4 車線に拡幅することで交通容量を確保し、現道の混雑緩和が可能。
 - ・ 越波対策や道路改良による線形不良箇所の改善など現道の安全・安心な走行空間の確保が可能。
 - ・ 沿道に家屋が連なっている区間で道路幅員の拡幅等を行うため、支障家屋が多い。
 - ・ 整備にあたり、工事中の交通規制に配慮が必要。

4. 対応方針（原案）の検討

5) ルート帯案の比較・評価

評価項目	評価指標	【案①】全線バイパス案	【案②】部分バイパス+現道拡幅案	【案③】現道拡幅案	
		沿岸部の住宅団地と事前通行規制区間を回避する全線バイパス案	事前通行規制区間をショートバイパスで回避し、残る区間の現道を拡幅する案	現道（対面2車線）を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案	
		一般道歩道有り 延長 約7 km	一般道歩道有り 延長 約7 km（バイパス約5 km, 現道拡幅約2 km）	一般道歩道有り 延長 約7 km	
道路整備による効果・改善点	産業振興を支援するネットワークの強化	工業製品及び原材料の輸送時間（工業団地～岩国IC） ・速達性が向上（現況に比べて約15分短縮）	・速達性が向上（現況に比べて約14分短縮）	・速達性が向上（現況に比べて約13分短縮）	
	交通の円滑化	通勤時の国道188号の渋滞 ・バイパスに交通転換し、渋滞が最も緩和	・バイパス部に交通転換し、現道拡幅部は交通処理能力が向上し、渋滞が緩和 ・信号交差点が残り、案①より速度が低下	・現道拡幅により交通処理能力が向上し、渋滞が緩和 ・信号交差点が残り、他案より速度が低下	
		救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること（柳井地区～第3次救急医療機関） ・現道課題の回避により信頼性・速達性が向上（現況に比べて約9分短縮）	・バイパス部は現道課題を回避し、現道拡幅部は現道課題が解消することにより信頼性・速達性が向上（現況に比べて約8分短縮）	・現道課題が解消することにより、信頼性・速達性が向上（現況に比べて約8分短縮）	
	交通安全の確保	渋滞に起因した交通事故（国道188号） ・渋滞に起因する交通事故が減少	・渋滞に起因する交通事故が減少	・渋滞に起因する交通事故が減少	
		歩行者の安全性 ・現道の歩道については一部未整備	・バイパス部の現道の歩道については一部未整備のままだが、現道拡幅部については歩道が確保される	・全ての区間で歩道が確保される	
	災害時に強い道路ネットワークの確保	越波による通行規制の回避 ・通行規制の回避可能	・通行規制の回避可能	・通行規制の回避可能（越波対策必要）	
		津波浸水による通行規制の回避 ・通行規制の回避可能	・現道拡幅部において通行規制の回避ができない可能性有り	・通行規制の回避ができない可能性有り	
	配慮すべき点	環境等への影響	自然環境への影響 ・バイパス部は土地（地形）を新たに改変する範囲が大きいため、配慮が必要	・バイパス部は土地（地形）を新たに改変する範囲が大きいため、配慮が必要 ・現道拡幅部は土地（地形）を新たに改変する範囲が小さい	・現道拡幅部は土地（地形）を新たに改変する範囲が小さい
		生活への影響	生活環境への影響（大気質や騒音の影響） ・交通がバイパスに転換するため、現道沿線の生活環境への懸念が小さい	・現道拡幅部は、現道沿線の生活環境への懸念が大きい	・全線現道を拡幅するため、現道沿線の生活環境への懸念が大きい
			移転などが必要な家屋数 ・約180軒	・約220軒	・約400軒
工事の影響		現道交通への影響 ・バイパス部工事のため、現道の交通規制が少ない	・一部現道の国道を拡幅するため、交通規制が多い	・現在の国道を拡幅するため、交通規制が多い	
建設費		建設に要する費用 ・約270～320億円	・約290～340億円	・約410～460億円（越波対策費を含む）	
維持管理費	維持管理に要する費用 ・道路を新設し、管理する延長が増えるため、維持管理費用は現道拡幅案より高い	・道路を新設し、管理する延長が増えるため、維持管理費用は現道拡幅案より高い	・現在の道路を改良するため、維持管理費用は他案より安い		

5. 意見聴取方法

5. 意見聴取方法

1) 意見聴取の概要

■意見聴取の概要

- 実施主体: 国土交通省
 周知方法: 記者発表、ポスター掲示、市広報誌、HPへのバナー貼り付け
 配布方法: ①住民は全戸配布、企業は郵送配布
 ②上記以外は市町役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置
 ③HP上でのWEBアンケート
 回収方法: ①郵便ポスト
 ②市町役場や道の駅等への投函ボックスの設置
 ③HP上での回答
 期間: 概ね1ヶ月程度
 対象: 下表の通り

住民アンケート(全戸配布): 約53,200世帯			
岩国市	旧岩国市	約46,900世帯	
	旧由宇町	約3,700世帯	
和木町		約2,600世帯	
事業所アンケート: 約3,300社			
旧岩国市、旧由宇町、和木町、柳井市		約3,300社	
道路利用者アンケート: 36箇所			
常設	観光施設	潮風公園みなとオアシスゆう、錦果楼、岩国シロヘビの館 岩国市観光交流所 本家 松がね、広島東洋カープ由宇練習場 等	12箇所
	自治体	岩国市(本庁、出張所、支所)、和木町、柳井市 山口河川国道事務所岩国国道維持出張所	7箇所
	その他	主要企業、商業施設、病院等	17箇所
WEB	山口河川国道事務所HP、山口県HP、岩国市HP、柳井市HP、和木町HPにバナー掲載		
ヒアリング: 32団体・企業			
自治体	岩国市、柳井市		
沿線施設	警察、消防、病院、商工会議所、商業施設、地元企業等		
その他	トラック協会等		

＜アンケート配布範囲＞

※配布数は、地域住民アンケート



5. 意見聴取方法

2) 各手法の調査項目と活用方針

■意見聴取の方法・目的

把握する意見	アンケート	ヒアリング	備考
交通課題 及び道路課題	国道188号岩国市（藤生～長野付近）における交通課題及び道路課題について、地域住民等の概ねの考えを把握する。	アンケートでは把握できない具体的な交通課題及び道路課題、道路の役割について把握する。	第1回
道路整備の必要性	国道188号岩国市（藤生～長野付近）における交通課題及び道路課題は、道路整備による解決が必要であるか、地域住民等の概ねの考えを把握する。	アンケートでは把握できない道路整備によって期待できる効果について把握する。	
その他自由意見	その他、道路に関する意見や要望を幅広く聴取する。		
比較ルート帯案 (複数案)に対する 意見	ルート帯選定にあたり、地域住民等が概ね配慮する視点を把握する。	ルート帯について、アンケートでは把握できない具体的に配慮する視点を把握する。	第2回
その他の自由意見	その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。		
回答者の属性 利用状況	回答結果の差異に対して各分類で整理し、分析する。	—	共通

5. 意見聴取方法

3) 第2回アンケート案 (計画概要及び現状)

■計画概要

○本調査の主旨、前回アンケートの概要、調査対象箇所について説明。

国土交通省からのお願い

国道188号岩国市(藤生～長野付近)の改良の計画に関する第2回アンケート

みなさまのご意見をお聞かせください

現在、国土交通省では、国道188号岩国市(藤生～長野付近)の道路改良に関する計画検討を行っております。
 今回のアンケートは、国道188号岩国市(藤生～長野付近)の改良計画の計画検討を進めるにあたり、地域の皆様のご意見を伺い、生活に役立つ道路の検討をさせていただきたいと考えております。
 前回に引き続き、アンケートにご協力いただけますようお願いいたします。
 また、結果につきましては、集計してホームページ等で公表させていただきます。

※第1回アンケートでは、平成29年7月～8月にかけて「国道188号の課題」、「道路整備の必要性」について、約15,400件のご回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。

改良計画 検討位置図



※本アンケートでお答えいただいた情報は、厳重に管理するとともに、お答えいただいたご意見については今後の道路計画を検討する際の貴重なご意見として活用させていただきます。

■国道188号岩国市(藤生～長野付近)の現状

○対象路線の沿線における道路課題および地域の課題について説明。



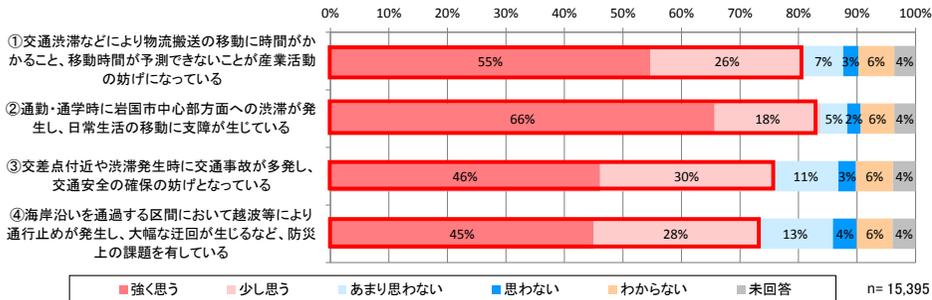
5. 意見聴取方法

3) 第2回アンケート案 (第1回アンケート集計結果)

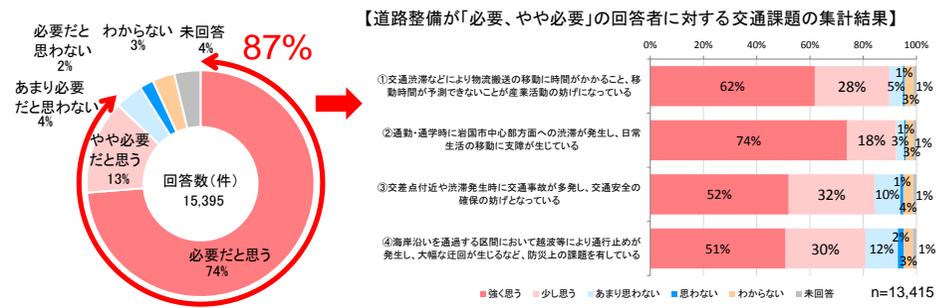
○第1回のアンケートの質問事項である「道路の課題」、「道路の必要性」について集計結果を説明するとともに、行政や業界に行ったヒアリング結果も説明。

■アンケート結果

1. 国道188号岩国市(藤生～長野付近)の課題について



2. 国道188号岩国市(藤生～長野付近)の道路整備の必要性について



「物流搬送の移動に時間がかかり、移動時間が予測できないことが産業活動の妨げになっている」、「通勤・通学時に渋滞が発生し、日常生活の移動に支障が生じている」といった点を交通課題として多くの方が実感していました。

国道188号岩国市(藤生～長野付近)の交通問題を解決するために道路整備が必要という意見が約9割でした。

- ・会社の車両の通行ルートが国道188号なっているため、通行止め等になったとき、納入時間に遅れることがある。(産業)
- ・朝夕の交通渋滞がひどい。特に、錦帯橋空港を利用する場合かなり余裕をもって行く。時間が勿体ない。(渋滞)
- ・藤生地区は、高齢者が自動車にひかれる交通事故が多く、問題解決には交通渋滞の解消が必要。1日も早く通津までの岩国南バイパスの延長をよろしくお願いします。(交通安全)
- ・大地震が発生した時、山際を走る道ばかりであり、逃げ場がない。(防災)
- ・利便性を優先するあまり自然破壊、環境の悪化が心配である。(自然環境)
- ・移動することによって環境にも良い道路(CO2削減、騒音軽減等)を考慮するとよいと思う。(生活環境)
- ・岩国南BPと同様に現道(国道188号)と少し距離をあけて山側に道路を通してほしい。移転補償、用地買収の面から。(家屋移転)
- ・改善はしたほうがいいと思うがその為の工事による渋滞等は避けてほしい。(工事の影響)
- ・渋滞、事故、越波が起きている時間と区間は限られていることから、原因を分析し、必要最小限の費用と時間で、大きい効果を得られる道路改良の方法を検討して頂きたい。(事業費)
- ・これから少子化となり人口も減っていく中、後々の道路の維持管理を考えて新しい道路は作ってもらいたいです。(維持管理)

5. 意見聴取方法

3) 第2回アンケート案 (政策目標)

○政策目標を説明。

課題① 産業を支援するネットワーク

臨海部の工業団地には製造業等の事業所が立地しています。しかし、輸送道路ネットワークの速達性が不十分であるため、これらの事業所から岩国港や岩国IC等へのアクセス性が低い状況です。また、製造品等の納入時間や通勤時間の遅延等により、企業活動に支障が生じています。

混雑時は約21分増加
 平常時 18分
 混雑時 39分
 対象区間の通過時間(長野→藤生)
 資料/交通実態調査結果(H29.1)

凡例
 一般国道(直轄)
 一般県道
 主な事業所エリア

政策目標①：産業振興を支援するネットワークの強化

課題② 国道188号における交通混雑・救急搬送の信頼性

朝の通勤時は、藤生駅前交差点を先頭とし、渋滞が約3.3kmに渡って発生しています。また国道188号(対象区間)には、主要渋滞箇所※が3箇所存在しています。

対象区間
 通勤時間帯に日常的に渋滞が発生
 渋滞長 約3.3km
 写真① 写真② 写真③
 資料/渋滞長:交通実態調査結果(H27.12)
 凡例
 一般国道(直轄)
 一般県道
 主要渋滞箇所
 ※主要渋滞箇所:最新交通データや地域の皆様の声を基に特定した地域全体として渋滞を実感している箇所

政策目標②：交通の円滑化

課題③ 国道188号で多発する交通事故

国道188号(対象区間)には、全国平均死傷事故率※(73.7件/億台キロ)を上回る箇所が藤生交差点など10箇所存在しています。

対象区間
 死傷事故率 全国平均 73.7件/億台km
 ※死傷事故率:1万台の車が1万km走行した場合に発生した死傷事故件数を表す
 資料/事故統合DB(H23~H26)

凡例
 一般国道(直轄)
 一般県道
 事故による通行止め箇所
 平面線形不良箇所(R≤150m)
 縦断線形不良箇所(I≥5.0%)

政策目標③：交通安全の確保

課題④ 災害に対し脆弱な国道188号

対象区間には越波による事前通行規制区間が存在しています。また、津波発生時に浸水が想定されている区間も存在します。

対象区間
 通行規制時に代替路となる路線がない
 津波浸水区間
 津波による通行止め実績 事前通行規制区間(越波)

発生年	件数	規制時間
H11	1件	2時間45分
H16	1件	3時間30分
H17	1件	2時間15分
H19	1件	4時間45分
合計	4件	13時間15分

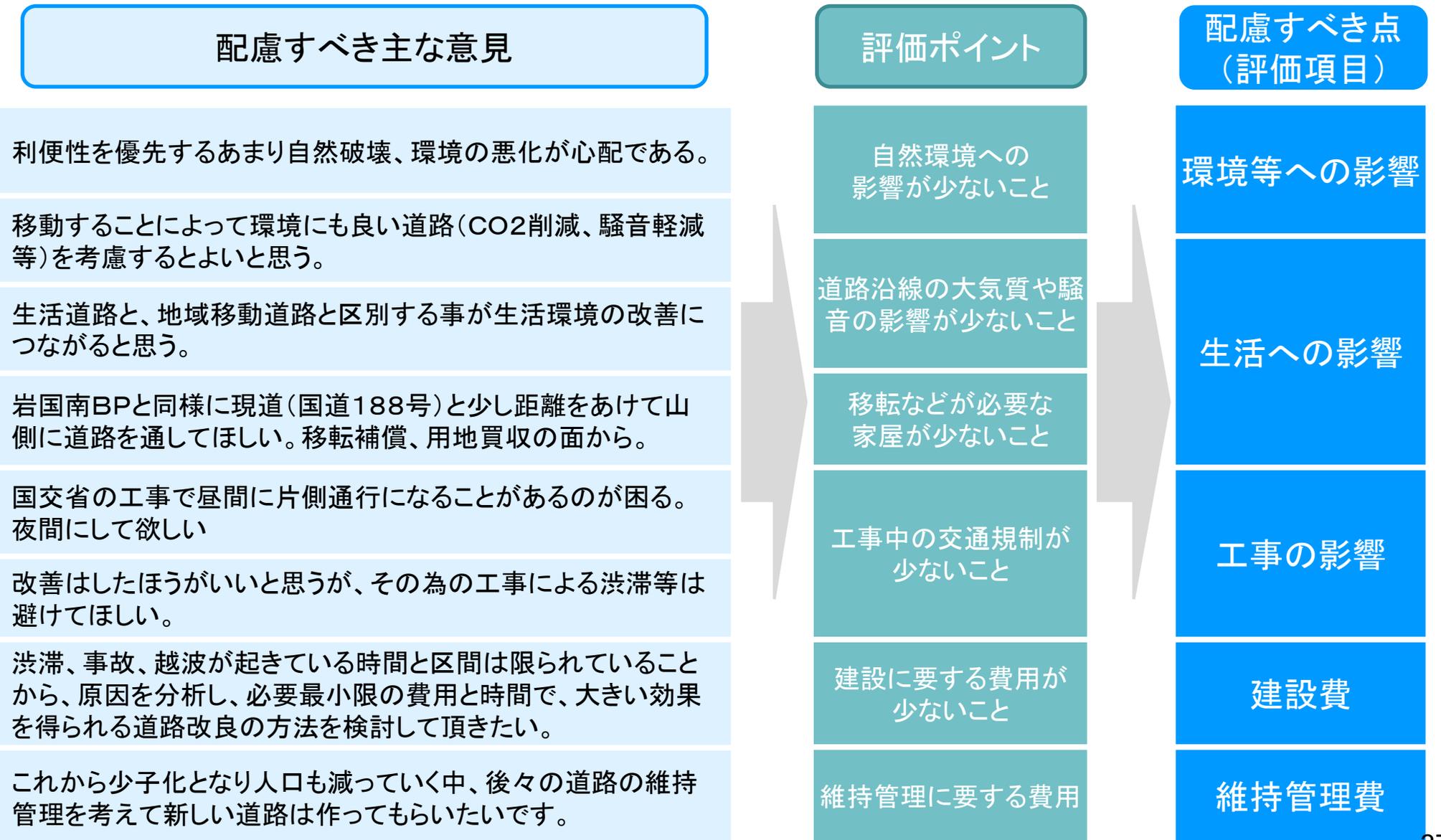
凡例
 一般国道(直轄)
 一般県道
 津波浸水想定区域

政策目標④：災害時に強いネットワークの確保

5. 意見聴取方法

3) 第2回アンケート案（配慮すべき点）

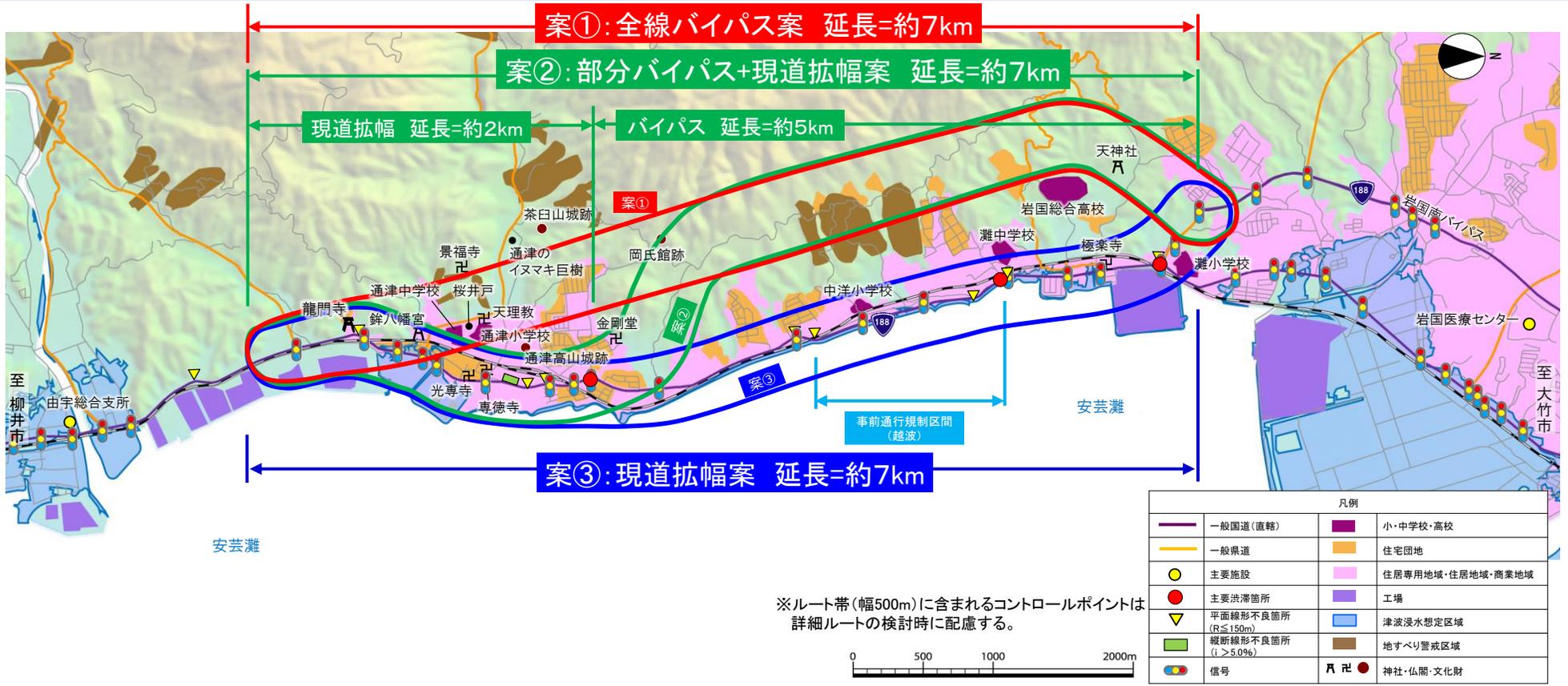
○アンケート意見より、ルート帯案の評価項目を設定したことを説明。



5. 意見聴取方法

3) 第2回アンケート案（対策案の概要）

○各対策案の概要と各評価項目における整備効果を図と比較表を用いて説明。

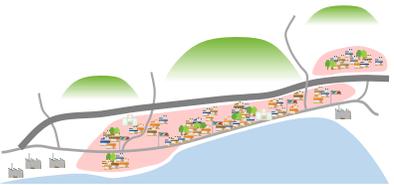


【特徴】○国道188号の渋滞区間や災害・事故などの現道課題を解消、及び南側の工業団地へのアクセスを考慮し、以下の案を検討する。

- 案①: 全線バイパス案** → 沿岸部の住宅団地と事前通行規制区間を回避する全線バイパス案
- 案②: 部分バイパス+現道拡幅案** → 事前通行規制区間をショートバイパスで回避し、残る区間を現道拡幅する案
- 案③: 現道拡幅案** → 現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案

5. 意見聴取方法

3) 第2回アンケート案 (対策案の評価項目)

評価項目	番号	評価ポイント	【案①】全線バイパス案	【案②】部分バイパス+現道拡幅案	【案③】現道拡幅案	
			沿岸部の住宅団地と事前通行規制区間を回避する全線バイパス案	事前通行規制区間をショートバイパスで回避し、残る区間の現道を拡幅する案	現道(対面2車線)を4車線に拡幅し、交通容量を拡大する案	
			一般道歩道有り 延長 約7km	一般道歩道有り 延長 約7km (バイパス約5km, 現道拡幅約2km)	一般道歩道有り 延長 約7km	
						
道路整備による効果・改善点	①	物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること	・速達性が向上 (現況に比べて約15分短縮)	・速達性が向上 (現況に比べて約14分短縮)	・速達性が向上 (現況に比べて約13分短縮)	
	②	交通の円滑化	・バイパスに交通転換し、渋滞が最も緩和	・バイパス部に交通転換し、現道拡幅部は交通処理能力が向上し、渋滞が緩和 ・信号交差点が残り、案①より速度が低下	・現道拡幅により交通処理能力が向上し、渋滞が緩和 ・信号交差点が残り、他案より速度が低下	
		③	救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること (柳井地区～第3次救急医療機関)	・現道課題の回避により信頼性・速達性が向上 (現況に比べて約9分短縮)	・バイパス部は現道課題を回避し、現道拡幅部は現道課題が解消することにより信頼性・速達性が向上 (現況に比べて約8分短縮)	・現道課題が解消することにより、信頼性・速達性が向上 (現況に比べて約8分短縮)
	④	交通安全の確保	・渋滞に起因する交通事故が減少	・渋滞に起因する交通事故が減少	・渋滞に起因する交通事故が減少	
		⑤	歩行者の安全性が確保されること	・現道の歩道については一部未整備	・バイパス部の現道の歩道については一部未整備のままだが、現道拡幅部については歩道が確保される	・全ての区間で歩道が確保される
	⑥	災害時に強い道路ネットワークの確保	・越波による通行止め発生時に代替路が確保されること	・通行規制の回避可能	・通行規制の回避可能	・通行規制の回避可能 (越波対策必要)
		⑦	津波浸水による通行止め発生時に代替路が確保されること	・通行規制の回避可能	・現道拡幅部において通行規制の回避ができない可能性有り	・通行規制の回避ができない可能性有り
配慮すべき点	⑧	自然環境への影響が少ないこと	・バイパス部は土地(地形)を新たに改変する範囲が大きい ため、配慮が必要	・バイパス部は土地(地形)を新たに改変する範囲が大きい ため、配慮が必要 ・現道拡幅部は土地(地形)を新たに改変する範囲が小さい	・現道拡幅部は土地(地形)を新たに改変する範囲が小さい	
	⑨	生活への影響	・交通がバイパスに転換するため、現道沿線の生活環境への懸念が小さい	・現道拡幅部は、現道沿線の生活環境への懸念が大きい	・全線現道を拡幅するため、現道沿線の生活環境への懸念が大きい	
		⑩	移転などが必要な家屋が少ないこと	・約180軒	・約220軒	・約400軒
	⑪	工事の影響	・バイパス部工事のため、現道の交通規制が少ない	・一部現道の国道を拡幅するため、交通規制が多い	・現在の国道を拡幅するため、交通規制が多い	
	⑫	建設費	・約270～320億円	・約290～340億円	・約410～460億円(越波対策費を含む)	
⑬	維持管理費	・道路を新設し、管理する延長が増えるため、維持管理費用は現道拡幅案より高い	・道路を新設し、管理する延長が増えるため、維持管理費用は現道拡幅案より高い	・現在の道路を改良するため、維持管理費用は他案より安い		

5. 意見聴取方法

3) 第2回アンケート案 (質問事項)

- 「対策案(ルート帯案)を検討する際に重視すること」について確認
- 「質問事項」と合わせて、自由意見や回答者の属性を確認

【 質 問 票 】

(回答はがきに記載してください)

質問1 今回、3つのルート帯案を検討していますが、地域にとって望ましい案を考える際に何が重要と思いますか？
以下の重視すべき項目①～⑭から、特に重視すべきと思われる項目について最大3つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

- ① 物流時間の短縮や移動時間を読みやすくし、産業活動を支援すること
- ② 渋滞が緩和できること
- ③ 救急医療機関へ早く、確実、安全に搬送できること
- ④ 交通事故が起きにくいこと
- ⑤ 歩行者の安全性が確保されること
- ⑥ 越波による通行止め発生時に代替路が確保されること
- ⑦ 津波浸水による通行止め発生時に代替路が確保されること
- ⑧ 自然環境への影響が少ないこと
- ⑨ 道路沿線の大気質や騒音の影響が少ないこと
- ⑩ 移転などが必要な家屋が少ないこと
- ⑪ 工事中の交通規制の影響が少ないこと
- ⑫ 建設に要する費用が安いこと
- ⑬ 維持管理に要する費用
- ⑭ その他 (上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください)

質問2 その他、道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良くと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ありがとうございました。

■回答方法 回答は、右記の返信用はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。
■締め切り 平成〇年〇月〇日(〇)までに投函願います。

【 回 答 は が き 】

(質問票をご覧ください回答してください)

(質問1)
左記の重視すべき項目①～⑭のうち、特に重視すべきと思われる項目について、番号とその理由・内容をお書きください。

特に重視すべき項目の番号	特に重視すべき理由・内容 (特に意見が無い場合は空欄でも構いません。)

(質問2)
道路を整備することによる懸念事項や配慮した方が良くと思うことなどがありましたら、ご自由にお書きください。



5. 意見聴取方法

3) 第2回アンケート案 (質問事項)

定形郵便物

料金受取人払郵便

防府局 承認 ***

差出有効期間 平成**年*月**日 (切手不要)

7 4 7 - 8 7 9 0

山口県防府市国衛1-10-20
国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所 計画課 行



◆あなた自身のことについておしえてください。
【記入または該当する番号に○をつけてください】

住所 〒 - () 都道府県 () 市区町村 () ※番地不要

性別 ① 男性 ② 女性 年齢 歳代

◆国道188号の「藤生～長野付近」(以下「対象区間」)の普段の利用状況をおしえてください。【該当する番号に1つ○をつけてください】

Q1. 対象区間を利用する頻度をおしえてください。
① 週4日以上 ② 週2～3回程度 ③ 月2～3回程度
④ ほとんど利用しない ⑤ 利用したことがない
→⑤を選ばれた方は《裏面》の質問へ、その他の方はQ2へ

Q2. 対象区間を利用する際の主な交通手段をおしえてください。
① 自動車(乗用車) ② 自動車(トラック) ③ 公共交通(バス・タクシー)
④ バイク ⑤ 自転車 ⑥ 徒歩

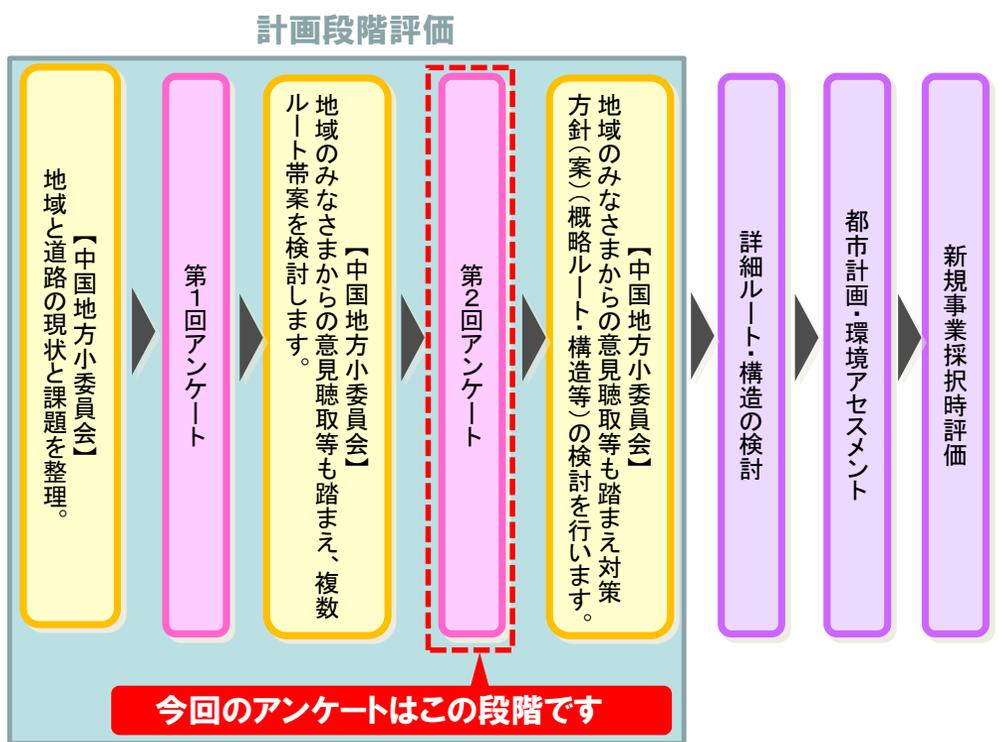
Q3. 対象区間の主な利用目的をおしえてください。
① 通勤 ② 通学 ③ 家事・買い物 ④ 送迎
⑤ 仕事 ⑥ 観光・レジャー ⑦ その他()

Q4. 主な目的地をおしえてください。
① 岩国市(旧岩国市) ② 岩国市(旧由宇町) ③ 岩国市(旧玖珂町)
④ 柳井市 ⑤ 周防大島町 ⑥ 和木町
⑦ 大竹市 ⑧ その他()

注 《裏面》にも質問があります→

【回答はがき】

アンケートの今後の流れ



※本アンケートでお答えいただいた個人情報、厳重に管理するとともに、お答えいただいたご意見については今後の道路計画を検討する際の貴重なご意見として活用させていただきます。

アンケートのお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局
山口河川国道事務所
担当: 計画課
☎ 0835-22-1819



安心して快適な
地域づくりのために
みなさまのご意見をお待ちしております。